

この他にも
令和2年6月
琵琶湖疏水が
日本遺産に登録
されました！

みやこはし 京の橋しるべ 第18号

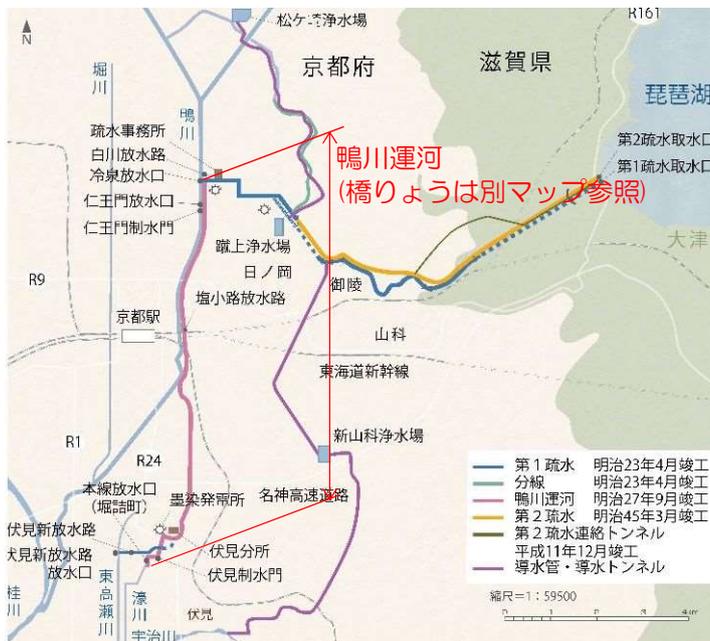
(令和3年3月発行)

◆ 琵琶湖疏水鴨川運河施設群が土木学会選奨土木遺産に認定されました！

琵琶湖疏水鴨川運河施設群は、琵琶湖疏水のうち、冷泉放水口（左京区冷泉通・鴨川合流点）から伏見区堀詰町までの全長約9kmの疏水（鴨川運河）、橋りょう、樋門・水門等の河川構造物を含めた総称です。

琵琶湖疏水は、琵琶湖の水を京都市へ引くために作られた水路です。疏水建設は京都三大事業の一つであり、琵琶湖疏水が出来たことにより、その水の力で近代京都の都市基盤を築きました。鴨川運河は明治23年（1890年）に第1疏水が完成した後、明治25年に着工し、明治27年に完成しています。

琵琶湖疏水鴨川運河施設群は、『橋りょうなどが群として存在する独特の景観を造り出している』という点が評価され、令和元年度土木学会選奨土木遺産に認定されました。※琵琶湖疏水の発電施設群についても、平成13年度に選奨土木遺産として認定されています。



◆ 土木学会選奨土木遺産とは

土木遺産の顕彰を通じて歴史的土木構造物の保存に資することを目的として、平成12年に認定制度を設立し、推薦および一般公募により年間20件程度が選出されています。京都市内では七条大橋（第7号参照）や堀川第一橋（第11号参照）をはじめ、13箇所（令和2年度時点）が認定されています。

【京都市内の選奨土木遺産】

七条大橋（大正2年建設）



堀川第一橋（明治6年建設）



※その他にも、梅小路機関車庫（大正3年建設）や阪急大宮駅と大宮・西院間の地下線路（昭和6年建設）等が認定されています。

◆ 鴨川運河の橋りょう

鴨川運河には古くは大正8年（1919年）につくられたものから、道路整備に伴い平成28年に架替えられたものまで30橋もの橋りょうが点在しています（別マップ参照）。人道橋が多い（16橋）のが特徴で、橋の種類はコンクリート橋や鋼橋と様々です。橋りょう健全推進課では、平成23年12月に「いのちを守る 橋りょう健全化プログラム」を策定し、鴨川運河の橋りょうも含めて、老朽化修繕や耐震補強工事を行っています。

◆ 鴨川運河の橋りょうの補修補強事例

橋名：中之郷橋
 場所：京都市伏見区深草直達橋二丁目地内
 橋の種類：鉄筋コンクリート単純T桁橋(車道橋)×2連
 +鋼単純鈹桁橋(側道橋)×2連
 建設年度：昭和3年(車道橋)，昭和42年(側道橋)
 工事期間：令和元年7月～令和3年2月

中之郷橋は、桁の塗装塗替，断面欠損やひび割れ等傷んだ箇所を治すことを目的に改修工事を行いました。対象路線は緊急輸送道路に指定されていることから，橋脚を補強する等，地震時にも落橋しない対策を合わせて行いました。



施工前



施工後

◆ 橋脚側面に残るマークは……？

鴨川運河の橋脚には，竣工当時に設置されたと思われるマークが多数残っています。その形は，六芒星であったり，五芒星であったり，橋によって様々なマークが描かれています（右表参照）。その中でも六芒星は，疏水路発電事業の管理等を行っていた水利事務所や電気局の水利徽章として用いられていたことが，過去の資料から確認することが出来ます。

No.	橋りょう名	マーク	No.	橋りょう名	マーク
1	疏水一ノ橋	□	16	砂川橋	□
2	岸上橋 (橋台のみ)	—	17	綿森橋	★
3	疏水二ノ橋	—	18	町通橋	□
4	柿本橋	—	19	野田橋	★
5	御所之橋	—	20	師団橋	☆
6	中央橋	—	21	きとろ橋	□
7	松風橋	—	22	堀田橋	□
8	疏水三ノ橋	□	23	極楽橋	□
9	上高松橋	—	24	下極楽橋	★
10	高松橋	—	25	中之郷橋	—
11	相深橋	□	26	藤ノ森橋	□
12	横縄橋	★	27	高田橋	□
13	稻荷橋	—	28	北新橋	★
14	ススハキ橋	—	29	墨染橋	—
15	深草橋	—	30	出雲橋	★

★…六芒星 ☆…五芒星 □…？



京都市例規類抄（明治36年）京都市電気局例規（昭和12年）

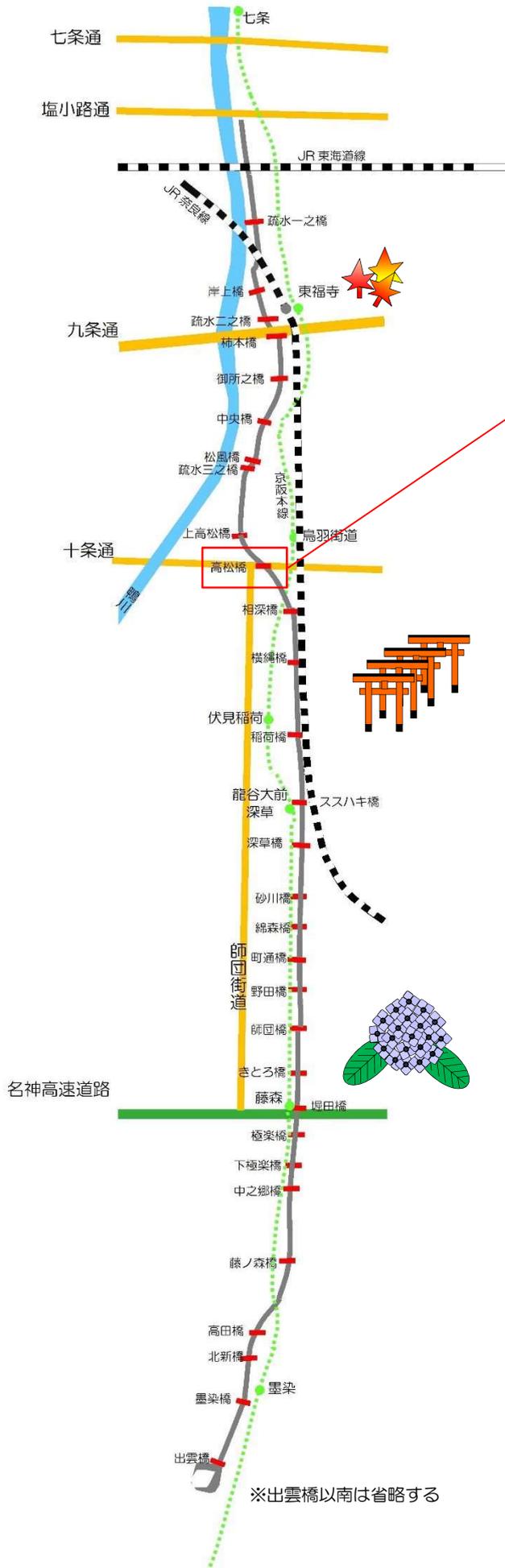
六芒星

五芒星

？



鴨川運河橋りょう群 マップ



旧高松橋のなごりと選奨土木遺産認定プレート

橋脚のマーク



石製高欄



選奨土木遺産認定プレート



石製親柱



※出雲橋以南は省略する

〈京の橋の紹介⑰〉

高松橋（たかまつはし）

場 所：京都市東山区福稲下高松町
 交差物件：鴨川運河
 橋の種類：単純鋼床版桁橋
 橋 長：27.0m
 幅 員：14.8m
 完 成 年：平成28年（2016年）



高松橋は本町下高松通拡幅に伴い、平成28年に架替が行われました。撤去された高松橋は、鴨川運河が完成した明治27年（1894年）以降に架替えられたものであり、古い橋りょう台帳（第14号参照）より大正11年（1922年）に完成にしたことが分かります。旧高松橋は疏水内に橋脚のある2径間の橋りょうでしたが、橋脚のない単径間の橋りょうとして生まれ変わっています。

高松橋近くの高松橋ひろばには、旧高松橋の橋脚のマーク、石製の親柱や高欄が残されており、昔の面影を確認することが出来ます。またひろば内には、琵琶湖疏水鴨川運河施設群が土木学会選奨土木遺産に認定された際の記念プレートも設置されています。

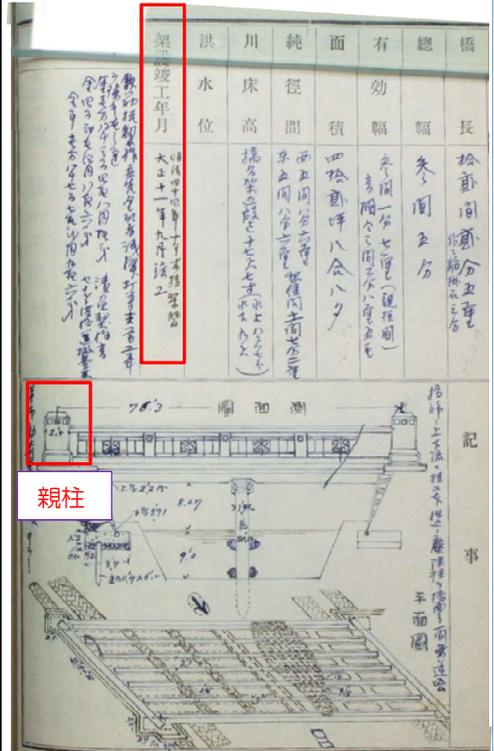
令和2年10月25日には、選奨土木遺産認定と高松橋ひろば完成を祝う会が開催されました。



高松橋ひろばに残る親柱



大正11年竣工



親柱

旧高松橋 橋りょう台帳

◆ 京の橋しるべについて

私たち建設局橋りょう健全推進課では、市民の皆様の安心・安全な生活を守るため、京都市が管理する「橋」の耐震補強と老朽化修繕を進めています。

その取組を市民の皆様にもっと知っていただくため、また、私たちの日常生活を支えるかけがえない「橋」について関心を持ってもらい、身近なものとして親しんでいただくため「京の橋しるべ（みやこのはししるべ）」というリーフレットを定期的に発行し、市民の皆様には「橋」にかかわる様々な情報を発信しています。

「道しるべ」は、道路に目的地までの距離や方向を示し、道案内のために設置されたものですが、「橋しるべ」は私たちの「橋」に関する取組などをわかりやすくお伝えして（案内して）いきたいということで名付けました。

発行・お問い合わせ 京都市建設局橋りょう健全推進課 (TEL 075-222-3561)



京都市では、橋の歴史や補修取組、有名な橋を紹介した冊子「京の橋しるべ」と、道路や公園などの損傷箇所を投稿するアプリ「みっけ隊」を配信しています。

詳しくはWebで！ [京の橋しるべ](#)



& [みっけ隊 募集中](#)

